

広報ひゅうが

No. 104 1964 1 月号 毎月10日発行

宮崎県日向市役所 発行人 藤井満義 編集人 企画室広報統計係
昭和31年9月21日第3種郵便物認可

人口

1月1日

男	19,746
女	21,436
計	41,182
世帯	9,555



一月一日

日向市長

藤井満義

○……………として保存下さい……………○

苦難をのりこえ

さらに躍進の年に

あけましておめでとうございます。

かえりみますと、昨年は新春早々市役所大火という大災厄に、全く身も心も焼きちぢめられ、実はそのまま往生ともいふべきところを、市議会の皆様をはじめ、広く市民各位の温いご激励に新たなる感激と覚悟をもって郷土の運命を左右するともいふべき新産業都市指定の問題に、市議会の皆さんとともに必然の取組みをしたのでありましたが、幸にして市民各位は申すに及ばず、関係地域住民の非常な熱意と、黒木知事さんを中心として県議会、さらに全県的な運動に発展した結果は、ご承知の通り全国13地域の中に入ることができたのであります。

鉄興社の工場建設が1年ほど遅れることになりましたが、共和製糖、東洋果糖両社との契約が成立して、新年早々地場産業と結びついた甘味工場の建設が確実となり、全く死地であって生を得た思いであります。

また9月末から11月はじめにかけて、40日間の長きに亘る欧

米視察の、私しの願望をもかなえていただくなど、市といたしましても、いわば歴史的な年であり、また私しの運命をもかけたと思われる、生涯を通じて忘れることのできない年でありました。

さて、ここに新年を迎えるにあたり、ことしは「何を考え、何をなすべきか」ということですが、申しあげるまでもなく、要約いたしまして、▽新市庁舎の建設、そして新しい市行財政の確立。▽新産業都市の正式認定を受け、さらにこれが実施態勢に入る。▽諸工場建設の促進等、受け入れ態勢に遺憾のないように、そしてさらに新しい第三、第四の工場誘致に一段の意を払う。▽地域市町村の融和一体化につとめる。などかと思ひます。

ことしもまた昨年にまさる意義深い希望の年であり、また容易ならぬ苦心苦労の年かと思われまふ。あらゆることを覚悟して、じっくり地道にその使命に精進いたしたいと思ひます。

何とぞ皆様の一層のご理解とご指導を切にお願い申し上げます。

新年号

はたち 20才が市政に望むもの

緑の中の工業都市を

市内畑浦 黒木保代(公務員)



日向市、みまわしてみても工場らしきものはない。広々とした田畑と折り重なる山々だけである。しかし、ここに煙突が立ち並び、いせよく煙をはきだす日もそう遠くはないだろう。貧しいわれわれの郷土が工業都市となることは実に喜ばしいことである。しかし、この美しい自然がこわされてゆくことは寂しい。いま工場を誘致しなければ、とてもこのままでは、日向市は発展しないことはわかっているけれど、煙で青空も見えないときがくるのではないかと、などと矛盾した考えにとらわれることもある。

そこでわたしは、煩雑な工業都市でなく、自然の美しさがこわされることなく、田園風景、豊かなうるおいのある工業都市の建設を望む。

市民の団結で 明るい日向市に

市内原町 永友 紀子(店員)



時代とともに躍進を続けているわたしたちの郷土日向市は、ついに昨年全国多数の候補地をしりめに、めでたく新産都市の仮指定を受けることができました。

市の行政、それは果してどんなことが充分わかりませんが道路の建設、埋立と市当局でなければできない、物の建設のほかに市民の団結、融和がいまの日向市には一番大事なことでないでしょうか。例えば用意されたままで活用されていない原町の遊園地、また夜になれば安心して通れない暗い道。日向市にはほとんど街灯がありません。

お金がないから施設ができないと放置せず、市民にうたてて、団結して次々に設備して行くようにしたらどうでしょう。成人式にも苗木が贈られますが毎年その数づつでも道路に植えていったら…とわたしは夢をえがいているのです。

日向市建設の土台石に

市内財光寺 秋田映子(事務員)



高校を卒業してすぐ会社に入り、働くことの楽しさに没頭しはじめて2年、この2年、わたしを振りかえってみようと、職場での一日一日に追われ、広く眼を国や県、いや

市政に対してさえも向けることの少なかったことを、しみじみと反省しております。

さていよいよ20才になり祝福されますと、将来の期待に胸がときめくと同時に、この新産都市の指定により限らない発展を約束された日向市に住む一社会人として、少しでも役立たねば…という責任をひしひしと感ぜずにはいられません。

社会人の一員として、市政へも参加できるようにわたしたちは、活気ある明るい日向市を築く土台の一員として恥かしくない人間として、友人に先輩に、そして読書により、こんどさらに完成された個人への修養に心掛けたいと思います。

新産都市づくりは 若人の教育から

市内美々津 戸高郁子(無職)



わたしたちは大東亜戦争末期の最も激しい昭和18年この日本、そしてこの日向市美々津に生まれました。

無条件降伏と共に民主政治がだんだん育てられてゆくところ、わたしたちは小学校教育を受け、その後わたしたちの成長と共に、日本の政治、経済、文化も非常な発展をし今日におよんでいます。成人の仲間に入れていただくきょうこの日、社会人として、日本人として、またはずかしくない人間になれたら、日向市政も自づと立派なものになると思います。

そこで昨年末市長さんが欧米先進国をご視察され、それぞれの国のほこり、文化、教育、歴史といったものを土台にしたところの公民館教育というか、わたしたち若い者に直接日本の美しい文化、かくれた美点、先進国の美点を総合してもって教育していただくことを、成人式を迎えるに当たり特に希望します。新産都市づくりも、日向市のにないでである若者の教育から出発しなければならないと考えるからです。

市民の教養センターとして 図書館の充実を

市内本町横田淑子(図書館事務)



母校延岡高校の図書館事務員になったのは、高校卒業の昭和36年10月あれからもう3年間も司書の仕事を続けている。図書館に出入りする生徒の真剣なあけくれを目にして、いまさらながら図書館の持つ役割の重大さを痛感させられる。それにつけても思われることは、我が日向市に図書館のないことである。いろいろな財政上の理由から、已を得ない現状だろうと思うがしかし、最早万難を排しても、その設立をはからなければならないと直ぐに思ふ。

日向市の図書館建設について、どのような準備が進められているのか知らないが、一日も早くその実現を計ってもらいたいものだと思う。庁舎の再建がすでに始められ10月には豪華な新庁舎が完成すると聞いている。これと共に近代的な図書館が設立され、市民の教養センターとして活用される日のくるのを心から期待する。

正直ものが ばかをみない市政を

市内平岩 黒木 操(農業)



働けど働けど我が暮らし楽にならず、欲しいものも仲々買えないにち、生活の保護を受けながら飲酒めいていし、白昼大道を放散するもの、芝居映画には毎晩列席し、或いは収入をかくし、或いは法の裏をかくて高校進学する等、誠に人の道にはずれた行為ではないでしょうか。個人から直接金を受けずとも、国費でも県費でも市費でも我々の血税も含まれていることにかわりはないと思います。一応万策つくって困ったときはおすがりしても、その時の気持を失うことなく、普通の生活水準に復したら潔く辞退して自活すべきです。長い間の恩典についておぼれ、情の湖もつい盗泉の泥沼と化し、たちあがる意欲をおこそうとせず、反対に保護の止まるのを恐れて口実をつくる夫が県外に出稼に行き失踪のごとくみせかけて保護を受けるなど…過保護で惰民養成とならぬよう、また正直者がばかをみない市政に一層の精進をお願いします。

の、芝居映画には毎晩列席し、或いは収入をかくし、或いは法の裏をかくて高校進学する等、誠に人の道にはずれた行為ではないでしょうか。個人から直接金を受けずとも、国費でも県費でも市費でも我々の血税も含まれていることにかわりはないと思います。一応万策つくって困ったときはおすがりしても、その時の気持を失うことなく、普通の生活水準に復したら潔く辞退して自活すべきです。長い間の恩典についておぼれ、情の湖もつい盗泉の泥沼と化し、たちあがる意欲をおこそうとせず、反対に保護の止まるのを恐れて口実をつくる夫が県外に出稼に行き失踪のごとくみせかけて保護を受けるなど…過保護で惰民養成とならぬよう、また正直者がばかをみない市政に一層の精進をお願いします。

一般会計七千六百四十四万の追加で 予算額は六億五百万円に

日向市税賦課徴収条例の一部改正

ことし最後の十二月定例市議会に十六日に開会。会期を二十六日までの十一日間として開かれ、この十一日間の間に提出された議案は、昭和三十八年度日向市一般会計の追加更正予算、日向市税賦課徴収条例の一部改正や日向市国民健康保険税条例の一部改正など二十三議案のほか、報告四件、37年度の日向市一般会計才入才出決算など十三件でした。

では次に議決された議案の主なものをお知らせしましょう。

▼日向市税賦課徴収条例の一部改正

税負担の軽減をはかるため、地方税法等が改正されたため、その改正基準に基づいて、日向市税の賦課徴収条例も一部改正がなされました。

永年の夢がみのる年

工業都市への
心の準備を

市議会議長 柏田 勝



静かな1964年の元旦を迎えおめでとうございます。かえりみますと昨年はめまぐるしい年でありました。正月早々市役所の大火があり、類焼者を出して市民の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

外政面では新産都市運動が効を奏し、全国12ヶ所とともに日向一延岡地域もその選に入ったことは、県をあげての運動と関係地域のみなさんの熱意のたまもので、誠に感激にたえません。

暮の10日に共和製糖と東洋果糖の進出も決まり、新春早々着工の予定で、鉄興社も4月頃より建設が始められると思います。

いよいよことしから、日向市の永年の夢が現実するときがきたわけで、誠によろこばしい限りです。新庁舎の建設も暮の28日に鎮入れ式を行い、新春から着工、10月には完工の予定であり、新産都市の本指定も1月か2月に本指定を受ける公算が大きく、指定後は建設計画を進め、40年度から本格的に実施されることになります。

昨年4月の地方選挙によって新議会が構成され、わたしたちは市民の代表として市政に参画させていただいていますので、市の現時点が如何に重大であり、且つ意義があるかを深く認識し、議会の立場を堅持し、当局と不離一体で市政の進展に努め、市民各位のご要望に応じて日向市大成の基盤を築き、地域の皆様の福利を招来し、その任務を果す覚悟であります。お互に元旦を契機として日向市特有の陋習を打破し、将来の工業都市に対応する心がまえをもって将来と残り残さないよう一段の努力が必要だと思いますので、一層のご奮起を促したいのであります。

最後に皆様の良い年でありますことをお祈りして年頭のあいさついたします。

村で取扱うことになった)に区分し、それぞれの税額を徴収するようになったこと。などが主な改正点です。

▼日向市国民健康保険税条例の一部改正

この改正も低所得者の保険税負担軽減をはかるために行なわれたもので、①年収九万円以下の世帯②九万円に世帯員(納税義務者は除く)一人当り一万五千円をかけた加えたものより年収が少なく世帯の二つについて軽減されることになり、③については納税義務者一人について均等割額から二百円、世帯割額から三百八十一円を差引いたものを保険税として、④については納税義務者一人について均等割額から三百三十四円、世帯割額から二百五十四円を差引いたものを保険税として徴収することになりました。

【才入】市税 四百四十万円。地方交付税 一千三百五十万円。国庫支出金 一千八百二十五万四千円。県支出金 三百四万九千円。市債 二千九百二十九万九千円。分損金及び負担金 九十七万七千円が才入の主な追加です。

【才出】市役所費 八百六十九万二千円。消防費 三百三十万一千円。土木費 三千八百七十一万一千円。教育費 二百二十八万四千円。社会及び労働施設費 二百六十八万八千円。保健衛生費 二百六十八万八千円。産業経済費 三百八十一万六千円。公債費 九百九十八万九千円。諸支出金 四百七十四万四千円が主な追加です。

=自衛官募集=

いま二等陸、海、空の自衛官を募集しています。該当者は十八才以上二十五才未満の者、中学校以上の学歴を有するもので、身体強健なものです。受願ご希望の方は市民課までお申し込みください。

差引 一千八百四十四万二千五百十三円の黒字決算。一般会計、特別会計を合わせますと一千四百三十七万二千九百八十三円の黒字決算になります。なお、この決算については「財政特集」のかたちをもって、別号でお知らせします。

なお特別会計で主な追加がなされたものは、災害耕地復旧事業の一千九百九十四万七千円、公営住宅特別会計の九百六十九万九千円、下水道事業特別会計の八百四十二万九千円、農業共済特別会計の四百一十一万九千円などです。

▼昭和三十七年度日向市一般会計特別会計才入才出決算

三十七年度の一般会計、特別会計の才入才出決算など十三件が、この議会に上程され、承認されました。それにより、一般会計の才入才出決算は、才入 四億八千六百六十六万九千五百七十七円。才出 四億七千八百三十三万九千四百一十二円。差引 三百五十三万四千六百六十五円の黒字決算。特別会計の才入才出決算は、才入 一億五千二百九十六万八千三百三十三円。才出 一億四千二百二十二万五千八百一十五円。差引 一千一百一十一万八千三百一十八円の黒字決算。



市民の殿堂 新市庁舎 10月には完成

28日に盛大に起工式

市民の殿堂である新市庁舎の建設は、九州地方建設局にその設計を依頼し、事務を進めていましたがこのほどその設計書もできあがり、暮れの28日、建設現場である元市役所跡で盛大に起工式が行なわれました。

設計によりますと鉄筋4階地下1階、中央に望楼（地上30.44）がつき延べ面積5,280平方メートル、1階は市民のサービスができるように収入役室、会計、税務、保険、市民、水道、衛生の各課のほか、福祉事務所、市民相談室などの窓口を全部集中、市民ホールや医務室など

二階は市政の頭脳センターとして市長室、助役室、秘書室、総務財政の各課、企画室、参事室、図書資料室、議場、正副議長室、市議会事務局にあて記者室など

三階は商工水産、農林の各課と農業委員会事務局、印刷機械室、四階は400人収容できるステージ付の大集会場と中会議室、市教育委員会、視聴覚ライブラリー

地下は食堂、理髪、売店、ボイラー室、電気室、倉庫で四階までエレベーターを設け、全館暖房を設ける。

別館は商工会議所、図書館、消防署を入れ、周辺を公園化して市民の広場にする。

なおこの新庁舎は熊谷組が1億1千8百50万円（主体工事のみ）で落札、ことしの10月には完成する予定です【写真は新庁舎の完成予想図】

就職、進学される方へ

戸籍抄本は三日前に

ご承知のように市役所の大火で本庁関係分（富高、日知屋、細島塩見、財光寺）の戸籍原簿を焼失いたしました。

市民課では、いま焼失した戸籍の復元事務に努力していますが、現在のところ約五十五%が復元されただけで、全部ができあがってしまうまでには、まだ相当日数がかかる予定です。そこで戸籍係では本戸籍ができあがるまで、これ

にかわるものとして仮戸籍を発行しています。この仮戸籍は、本戸籍となんらかわることなく効力も同じですが、作成してお渡しするまで最低三日ぐらいいはかかります。

時間のかかる理由は、焼失した戸籍の副本を法務局から借り受けそれをもとにして調査し編成してゆく関係です。

これから三月〜四月にかけて、就職や進学と戸籍抄本を必要とされる方が多くなりますが、こういった事情ですから、戸籍抄本をとられる方は少なくとも三日前に係の方へお申しでになられるようお願いいたします。

新有権者の 感想文募集

いま新有権者の感想文を募集しています。

▽内容は新有権者としての民主政治、とくに「選挙に対する自覚」を内容とするもので標題は自由

▽原稿は四百字詰五枚（二千字以内）

▽応募資格は昭和十八年一月一日から同十九年十二月三十一日まで

に生まれたもの

▽締切りは一月三十日まで

▽送りは先は東京都中央郵便局区内自治省選挙局管理課あて

▽入選者には賞金と記念品。ふるってご応募ください。



▽モヤシの作り方

家庭で大豆モヤシをつくるにはまず漬け物だるなどを用意して、その底にしめた砂土をいれる。

大豆は一晩水につけて二・三倍にふくれあがらせたものを、砂の上に移して積み、上からムシロをかぶせておく、たるは土蔵や押し入れなどの暗いところにおき、二十度から二十五度ぐらいの温度に保ってやり、毎日水をかけてやると数日たつて発芽する。

だいたい一週間ぐらいで十五センチになるが、このへんが食べごろである。あまり長くおくと根がはえるし、光をいれると茎が青くなつて葉がでるから注意する。

▽赤ちゃんの鼻づまり

乳幼児は口で呼吸することが上手でないから、カゼにかかると、すぐ鼻づまりになつて乳のみ方も悪くなつてしまう。このようになるときは、オリーブ油を綿棒につけて静かにさしこんでやるか、鼻口に温湿布をしてやると、呼吸が楽になつてくる。

鼻づまりのひどいときは、母親が口で吸いとつてやるのが危険がともなわず一番効果的である。また胃腸を悪くしたり、カゼをひいたりして、くちびるが荒れてくるときは、オリーブ油、ハチミツ、コールドクリームなど刺激の少ないものを指先につけて、まわすようにマッサージしてやるとよい。

式人成

ふだん着で
みんな参加しよう

成人に達せられたみなさん、おめでとうございます。これからは成人として第二の人生に歩みだされたわけですが、希望にみちあふれていられることと思います。心から祝福申し上げるとともに幸多からんことをお祈りいたします。

さて、当市でも皆さんのご成人を祝福する意味で次のとおり成人式ならびに記念行事を行うことにしました。成人者みなさんの全員の参加をお願いします。

▽期日 昭和39年1月15日

▽時間 受付 午前8時半

式典 午前9時半

▽場所 富島中学校体育館

▽行事 式典を午前9時半から11時まで、11時から楽団演奏およびバレエ公演、ロードレース等

▽その他 参加者全員に記念品をお渡しいたします。

▽該当者 ことしの成人式に参加できる人は、昭和18年1月16日から昭和19年1月15日までに生まれた方。なお該当者の方で調査もれのため、通知を受けなかった方も式典に参加できますので是非ご出席ください。

▽推せん映画

県児童福祉審議会では、小中学生向け推せん映画を次の通り決定しました。

▽色彩長編漫画映画 わんわん忠臣蔵

▽総天然色 海底軍艦

▽色彩長編漫画映画 ビーターパン

▽総天然色音楽映画 青きドナウ

▽天然色 ターザン三つの挑戦

▽天然色 キャプテンシンドバッド